

2025/09/12

営農企画課

題名:「刈取適期晩限迫る！適期刈取で品質低下の防止を。」

内容:

今年の稲は籾数が多く登熟が緩慢な傾向にありましたが、中生品種では出穂後の積算気温で見た刈取適期に既に入っており、適期の晩限に近づいている状況にあります。

特に今年は出穂後に高温だったことなどから、胴割粒の多発や、薄茶米の発生が懸念されます。青籾歩合がなかなか低下せず、刈り始めが遅れる場合でも刈り取りの晩限は変わりません。刈り遅れに注意して計画的に作業を進めましょう。

また、籾の急激な乾燥は胴割粒の発生を助長するため、二段乾燥を励行し丁寧な乾燥・籾摺作業を行いましょう。

今後、降雨も予想されておりますが、作業は無理をせず安全に行いましょう。焦らず、無事故で作業を終えるようご注意ください。

9月に入っても暑い日が続いております。こまめな休憩、水分補給等、熱中症対策を徹底しましょう。